

かぜ やはずの風

がっこう なんばー
学校だより No. 21

れいわ ねん がつ にち
令和6年11月22日

きたきゅうしゅうしりつ も じ そうごうとくべつしえんがっこう
北九州市立門司総合特別支援学校

こうちょう おがた なおひこ
校長 緒方 直彦

うんどうじょう ひ はくせん ひ お うす きょう ごろ
運動場に引かれていたトラックの白線が、日を追うごとに薄れていく今日この頃です。9/19
(木)に高等部からスタートした体育学習発表会、10/29(火)に中学部、そして11/8(金)
の小学部でラストを飾り、学部単位(小・中学部はA・B部門合同開催でした)での大きな学校行事
が、幕を閉じたところです。高等部は熱中症警戒アラートぎりぎりでの開催、中学部は大雨で1
週間延期になり、小学部は秋晴れに恵まれたものの、時折突風が吹き荒れて、設置している児童用テ
ントの足を、複数の教師がぐっと握りしめる場面が何度もありました。

ポストコロナと言われて久しいところですが、コロナ禍となる前までは、本校では体育学習
発表会を、休日(木)の午前中から午後にかけて、全校単位(2部門5学部)で開催していた過去がありま
す。平日開催か休日開催か、全校単位か学部単位での開催か、いずれにもメリット・デメリットは
あると思われます。「こどもまんなか」の視点で、次年度以降の体育学習発表会の在り方を検討し
てまいります。

本校は五つの学校(2部門5学部)の集合体といっても、過言ではありません。高等部の前・後期
産業現場等における実習や、各学部単位で実施される修学旅行を含め、年間をおとした学校行事
の配列についても、熱中症や感染症対策、気象状況等を踏まえながら、よりよい形を目指し
ていきたいと考えます。

体育学習発表会当日には、平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様にご来校していただき、
温かい声援や励ましの言葉、割れんばかりの拍手をいただきまして、本当にありがとうございました。
子ども達は、体育科・保健体育科を始めとした日頃の学習の成果を、存分に発揮したように思われ
ます。今後も運動やスポーツに親しみながら心身を鍛え健康な日々をすごしてほしいと願っています。

「なるほど・ザ・特別支援学校」の続きをお届けします。

Q6: どうして門司総合特別支援学校に、“総合”の文字が入っているの
ですか。北九州市立特別支援学校で、“総合”が付くのは本校だけ
ですか。

A6: 北九州市では、平成28年4月に本校と小倉総合特別支援学校
(小倉南区春ヶ丘)の2校を新設しました。本校は知的障害と病弱、
小倉総合特別支援学校は肢体不自由と病弱に対応しています。もう、
お分かりかと思いますが、北九州市では複数の障害種に対応している特別支援学校を、“総合
特別支援学校”として、位置付けています。参考までに、全国に設置されている特別支援学校1,
171校(令和4年度)のうち、複数の障害種に対応している特別支援学校は269校で、全体
の約23%となっています。



じーも ©北九州市